

HEART NEWS

2013年5月1日発行

Vol. 1

大阪市立総合医療センター循環器センター



ハートニュースの発刊にあたって

大阪市立総合医療センターが1993年に開院して20年目となります。かつての大阪市立病院群には循環器系の専門診療科がなく、総合医療センター開院時に循環器内科（土師一夫部長）・心臓血管外科（清水幸宏部長）が開設され、冠動脈疾患治療を中心に大きな足跡を残されました。内科・外科との間には垣根なく、現在さかんに言われている「ハートチーム」という形態が当時からすでに構築されていました。これまでに心カテーテル検査・治療2万例、心臓大血管手術3000例を行ってきました。ご紹介あるいは外来フォローをしていただきました各医療機関の先生方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。



心臓血管外科は平成20年から柴田利彦が部長として担当し、この5年間で1000例の心臓大血管手術を行いました。5年間通算での手術死亡率2.7%（すべての緊急手術を含む）という成績です。循環器領域以外の専門診療科が充実しているところがもっとも総合医療センターの強みです。良好な手術成績を残せたのも、麻酔科、集中治療部、救急部をはじめ、様々な疾患に対応できる診療科の専門医が診療科の垣根なく集い、治療に協力してくれたおかげです。

4月より、柴田利彦（心臓血管外科部長）が副院長兼循環器センター部長に就任しました。昨年度は不整脈治療専用カテーテル室を設置し、本年度は高機能血管造影が可能なハイブリッド手術室を設置予定です。低侵襲治療（小切開手術、血管内治療）をより正確・安全にできる体制が整います。心臓以外の重篤な疾患を合併する最重症例を治療できる病院として、これからも皆様のお役にたてれば幸いです。

ハートニュース第1号を発刊します。次号から当院での活動内容の報告のみならず、最近の循環器内科・心臓血管外科でのトピックスをご紹介しますと思います。

大阪市立総合医療センター 副院長・循環器センター部長
心臓血管外科 柴田 利彦

大阪市立総合医療センター循環器センター

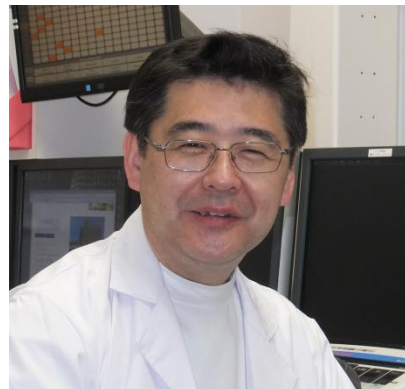
循環器内科のご紹介

2009年4月より成子隆彦が部長を務めさせていただいています。本年4月より新体制で診療を行っています。

当院の循環器内科の特徴はバランスが良いことだと思います。冠動脈疾患を成子、小松・柚木、動脈硬化を成子・柚木、心臓CT・MRIを小松、心エコー・心不全・弁膜症を阿部、不整脈・ペースメーカー・アブレーション治療を中川が、それぞれ専門としています。そして、これら5人のスタッフの指導のもとで、5人のレジデントが幅広い知識・技術を身につけるべく日々研鑽しております。このように、どんな循環器検査、循環器疾患にも対応できる循環器内科であると自負しています。

また、心臓血管外科と非常に良好な協力関係にあることも特徴として挙げられます。御紹介いただいた患者さんが多枝冠動脈病変を有している場合に、経皮的冠動脈形成術の適応なのか冠動脈バイパス術の適応なのか、弁膜症を有している場合に手術適応なのかどうか、などをそれぞれが独断で決定するのではなく、内科・外科できちんと議論して決定するようにしています。議論を通じて、患者さんにとって最善の、偏らない方針決定を行うことができていると思います。

当院では時間外・休日においても循環器内科医・心臓血管外科医が常駐する24時間対応の診療体制をとっています。また本年4月から近隣の先生方からの緊急診療依頼をより円滑に行うため、循環器内科直通電話（ハートライン）を設置していますので、どうぞご利用ください。



部長
成子隆彦



副部長
小松 龍士



副部長
中川 英一郎



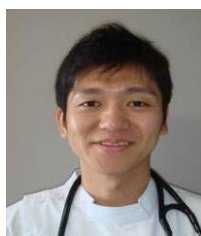
副部長
阿部 幸雄



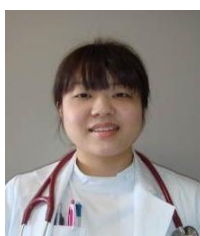
医長
柚木 佳



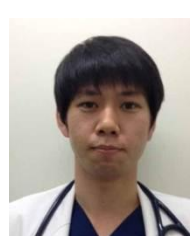
レジデント
古川 敦子



レジデント
水谷 一輝



レジデント
田中 千春



レジデント
吉山 智貴



レジデント
松下 司

外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	小松	交代制	柚木	成子
午後	阿部	小松	中川	柚木	成子
	中川 (ペースメーカー)		田中		

地域初診外来

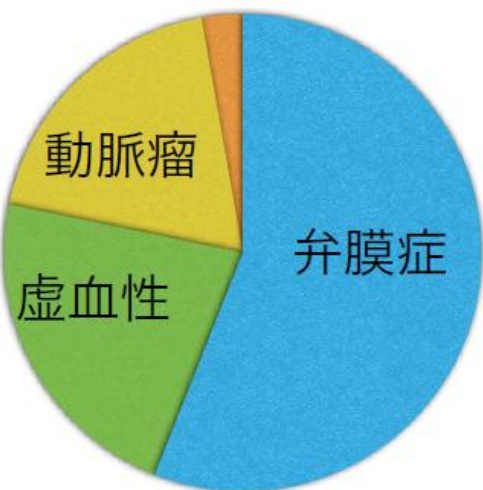
	月	火	水	木	金
午前	成子			成子	

大阪市立総合医療センター循環器センター 心臓血管外科のご紹介

当院での心臓血管外科の特徴は、弁膜症手術が心大血管手術の60%を占めていることです。とくに、僧帽弁閉鎖不全に対する弁形成術は過去5年で280例（弁形成完遂率99%）であり、日本のトップクラスの成績を挙げています。

最近では胸骨正中切開をしない右開胸小切開手術(MICS)も導入しました。大動脈弁疾患には、自己心膜による大動脈弁再建手術を行い、人工弁を使用しない手術も行っています。

大動脈瘤に対するステントグラフト治療、狭心症に対するオフポンプバイパス手術など、低侵襲への取り組みを積極的に行うと同時に、クオリティーの高い安全な手術を目指しています。（当院では循環器内科医のみならず心臓血管外科医が常駐する24時間対応の診療体制をとっています）



5年間で合計1039例
手術死亡率2.3%



副部長
服部 浩治



副部長
加藤 泰之



医長
元木 学



レジデント
高橋 洋介



レジデント
森崎 晃正



レジデント
西村 慎亮

外来担当医のご案内

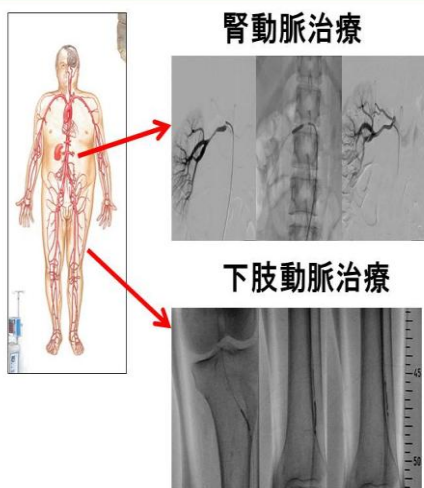
	月	火	水	木	金
午前	交代制	柴田	交代制	服部・加藤	元木
午後	交代制	柴田	交代制	服部・加藤	元木

今号の循環器一口メモ ・ Polyvascular Disease

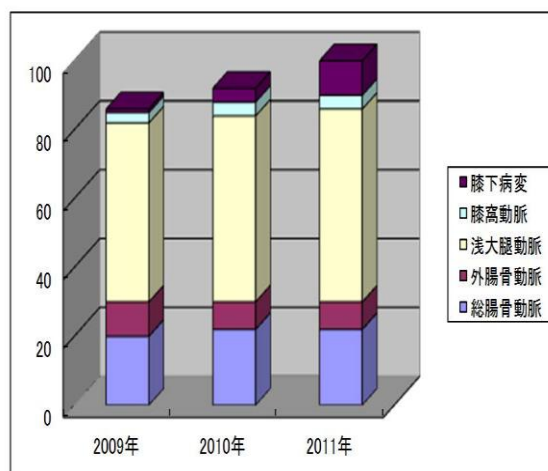
Polyvascular Disease (病態が複数の血管床にみられる) という概念をご存じでしょうか

- アテローム血栓症またはそのリスクファクターを複数持つ患者を対象としたREACHレジストリーの追跡データから冠動脈疾患患者の約1/4はpolyvascular disease (脳血管疾患や末梢動脈疾患) を有することが、明らかにされています。
- 当院でも冠動脈以外の腎動脈や下肢動脈のカテーテル治療も積極的に行っています。

末梢血管治療



当院での末梢血管治療成績



当院循環器内科は、4月から近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられるようにするため、循環器内科直通電話(ハートライン)を設置しました。

ハートライン(循環器内科直通電話)
06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、
06-6929-1221 (病院代表) から呼び出して下さい。